

# 三連水車を未来につなぐ文化継承の森づくり

科研B：災害後の森林環境と人間の関係性を再生する芸術文化的実践—英彦山分水嶺を中心に—

(九州大学芸術工学研究院教授 知足(ともたり)美加子)



朝倉の三連水車



英彦山のアカマツ球果から発芽  
(九大農学部圃場)

2025年度  
進行中の  
プロジェクト

朝倉三連水車は豪雨災害後1ヶ月で稼働し「復興のシンボル」となりました。5年毎に造り替えられますが、素材高騰に加え、マツ材線虫病蔓延によってアカマツ（中心軸）の調達が困難な状況が続いています。そこで、文化継承に必要な木材（アカマツ、カシ、シユロ等）を育成する「三連水車を未来につなぐ文化継承の森づくり」プロジェクトとして、小石原川ダム横のコア山の一部で試験的な森づくりを行うこととなりました。九大農学部の協力のもと、英彦山、朝倉地区の在来種実生苗、球果、挿木枝を採取し植栽準備を進めています。また、三連水車の3Dデータをとり、1/40立体模型やCG動画を制作しました。これらは水車大工の技術伝承、および自然エネルギーを利用する水車のSDGs的価値を再評価し、次世代の教育に役立てるものです。



三連水車の軸（アカマツ）



小石原川ダムの植栽予定地



アラカシ挿し木用枝採取  
(宮崎氏私有地)



文化継承の森のデザイン WS



アカマツ実生苗採取  
(英彦山座主院近辺)



三連水車 1/40 模型

三連水車の揚水のCG映像  
三連水車の揚水のCG映像  
三連水車の揚水のCG映像  
三連水車の揚水のCG映像



三連水車揚水のしくみ CG 映像